



【温州みかん】

病害虫防除 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。

7月下旬～8月中旬 ○黒点病 ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100% 収穫30日前 4回
又は ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100% 収穫30日前 4回

○カイガラムシ類・チャノビダニ類 コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100% 収穫前日 3回

○ミカンハモグリガ・アザミウマ類 メビウスフロアブル（劇） 3,000倍 33ml/水100% 収穫7日前 2回

アザミウマ類・ミカンハモグリガ

樹別摘果 （大津・青島） 裏年の樹は7月中に全摘果しましょう。表年の樹は、この時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果しましょう。

【不知火・はるみ・湘南ゴールド】

病害虫防除 黒点病の防除が重要となります。必ず行いましょ。

6月下旬～7月上旬 ○かいよう病（単用散布） コサイド3000 2,000倍 50g/100%
（葉害軽減のためクレフノン200倍 500g/100%を加用）

7月上旬～8月中旬 ○黒点病 ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100% 収穫90日前 4回
又は ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100% 収穫90日前 4回

○ミカンハモグリガ・アザミウマ類 メビウスフロアブル（劇） 3,000倍 33ml/水100% 収穫14日前 2回

アザミウマ類・ミカンハモグリガ

※カイガラムシを多く見かけた場合はコルト顆粒水和剤3,000倍 33g/100% 収穫前日 3回を散布する。

摘果

*不知火・はるみは樹勢維持のため、生理落果が始まったら樹冠上部1/3から1/4を全摘果します。不知火

は生理落果終了後に葉100枚に1果、はるみは7月下旬までに葉120枚に1果を目安に摘果します。

*夏季に乾燥を受けると高酸になりますので、灌水や敷き藁を行い、過乾燥を防ぎましょ。

*湘南ゴールドは7月20日時点で果実の横径が20mm以下（1円硬貨程度）と粗皮やス上がり果の発生しやすい

表層成りの果実をシンニング（摘果）する方法が有効です。

【レモン】

病害虫防除 7月 ○かいよう病・黒点病 コサイド3000 2,000倍 50g/水100%

又は イデクリーン水和剤 500倍 200g/水100%

（葉害軽減のためクレフノン200倍を加用する）

7月下旬～8月中旬

○黒点病 ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100% 収穫90日前 4回

○ミカンハモグリガ・アザミウマ類 メビウスフロアブル（劇） 3,000倍 33ml/水100%

チャノホコリダニ・ミカンサビダニ 収穫14日前 2回

※コサイド3000、イデクリーン水和剤との混用は効果低減を招くのでしない。

※カイガラムシを多く見かけた場合は、コルト顆粒水和剤3,000倍 33g/水100% 収穫前日 3回を散布

※ジマンダイセンを散布できない場合は、キノンドー水和剤80 800倍 125g/100% 収穫30日前

3回を散布する。

【キウイフルーツ】

病害虫防除 7月上旬

○果実軟腐病 ナリアWDG 2,000倍 50g/水100% 収穫前日 2回

○キウイヒメヨコバイ モスピラン顆粒水溶剤（劇）2,000倍 50g/水100% 収穫7日前 3回

カイガラムシ類

○カメムシ類発生時 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100% 収穫前日 3回

7月下旬～8月中旬

○キイロマイコガ フェニックスフロアブル 4,000倍 25ml/水100% 収穫7日前 3回

夏季剪定 止め葉が出る6月中旬ごろより夏季剪定を実施し、棚下の明るさを維持ましょ。

*晴天の日で、土の表面にところどころ日が射す程度

乾燥防止対策 梅雨明け後の乾燥に注意。敷き藁や灌水を実施し、土壌の乾燥を防ぎましょ。

【うめ】

病害虫防除 7月中旬～下旬

○黒星病・環紋葉枯病 トップジンM水和剤 1,500倍 66g/水100% 収穫21日前 3回

礼肥の施用 5月下旬～7月中下旬

（目的）樹勢回復と翌年の花芽充実のため。一番重要な肥料なので、必ず施用ましょ。

梅配合 120kg/10a

【お茶】

病害虫防除 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。

6月下旬～7月上旬

○輪斑病・新梢枯死症 カスミンボルドー 1,000倍 100g/水100% 摘採14日前 2回

※剪整枝後、出来るだけ早く（3日以内）散布する。

7月中旬～7月下旬

○チャノミドリヒメヨコバイ コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100% 摘採7日前 2回

チャノキイロアザミウマ

チャトゲコナジラミ

※夏整枝後、2週間を目安に散布する。

二番茶を摘採した場合の管理

整枝作業

整枝時期 二番茶摘採10日後を目安に、遅れ芽が出揃うのを待ってから行いましょ。

整枝位置 二番茶の摘採面

※整枝を怠ると摘採面が不揃いになりやすく、来年の一番茶の減収を招きやすいので、必ず行いましょ。

二番茶を摘採しない場合の管理

整枝作業

整枝時期 7月上旬を目安に、二番茶芽が出揃うのを待ってから行いましょ。

整枝位置 一番茶摘採面の2～3cm上で行いましょ。ただし、二番茶芽が病害虫の被害で

十分に生育しなかった場合は、一番茶摘採面より数cm下で整枝します。

*整枝を怠ると芽数が少なくなり、株面の枝が不揃いになるため、来年の一番茶の減収を招くので、

必ず行いましょ。

【水稻】

中干し 効果 ① 無効分けつを抑える ② 根の活力を高める ③ 倒伏に強くする
④ 田面を固くして秋のコンバイン等の作業性を高めるなど。

田面に軽くひびが入る程度を目安に、5日から1週間程度行います。(強い中干しはさける)
土壌中に酸素を送り根の健全な生育を促します。茎数が1株20本を超えたら実施しましょう。

追肥 中干しが終わると、追肥の時期となります。

※元肥一発肥料を使用した場合には追肥の使用の必要はありません。

幼穂の長さが2cm前後になった頃を追肥時期の目安にしましょう。

はるみ・キヌヒカリ 出穂15日前頃 化成肥料 17-0-17 12kg程度/10a

てんこもり 出穂20日前頃 化成肥料 17-0-17 18kg程度/10a

施肥時期の目安(5月25日植えの場合)

はるみ・キヌヒカリ 7月22日前後 てんこもり 7月22日前後

葉色が濃い場合や茎数が多い場合は倒伏につながる為、追肥時期を遅らせ施肥量を減らしましょう。

出穂期の目安(5月25日植えの場合)

はるみ・キヌヒカリ 8月6日頃 てんこもり 8月11日頃

病害虫防除 7月中旬～下旬

○紋枯病 リンバー粒剤 3～4kg/10a 収穫30日前 2回又は
モンカット粒剤 3～4kg/10a 収穫14日前 4回
出穂30日前～10日前に、株元にかかるよう散布

○イネツトムシ パダン粒剤4(劇) 3～4kg/10a 収穫30日前 6回 常発地区は必ず散布
ニカメイチュウ 又は スミチオン乳剤 1,000倍 100ml/水100㍓ 収穫21日前 2回

○ヒメトビウンカ スミチオン乳剤 1,000倍 100ml/水100㍓ 収穫21日前 2回

※縞葉枯病の症状が出ている株を発見したら、株ごと抜き取り園外廃棄を行いましょ。

中後期除草に使用する2,4Dアミン塩について、有効分けつ終止期～幼穂形成期前まで、収穫60日前までとなっています。収穫前日数については十分注意しましょう。

カメムシ類について・・・近年発生が多くなっています。減収・品質低下を招きますので除草・薬剤散布を組み合わせることで防除を徹底しましょう。

〈雑草管理〉

○出穂前の畦畔の草刈りは出穂の10日前までに済ませましょう。

○出穂前の草刈後3週間程度で雑草が結実し始めます。1回目の防除後に直ちに畦畔の草刈りをしましょう。

○収穫前の畦畔草刈りは収穫期2週間前以降に行いましょう。

8月上旬 (粒剤：出穂7日後) (液剤：出穂10日後)	カメムシ類	スタークル粒剤(3kg/10a)	7日	3回
		スタークル豆つぶ(250g/10a)	7日	3回
8月中旬 (粒剤：出穂21日後) (液剤：出穂24日後)		エミリアフロアブル1,000倍 (60～150㍓/10a)	7日	2回
		キラップフロアブル2,000倍 (60～200㍓/10a)	14日	2回

※カメムシ対策として使用する「スタークル剤」に関しましては、地域応援プログラムの助成金の対象になり、申請していただくと購入費(税抜き)の1/2の助成金が出ます。(申請は年度一回限りとなります。)

ご不明な点は、山北支店までお問合せください。

農業を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

水稻栽培講習会の開催について

～夏の管理ポイントをつかむ!～

下記のとおり講習会を開催いたします。ぜひご参加ください。

1. 日時・会場 **※雨天決行**

日付	時間	集合場所	備考
7/8(月)	9時30分より	開成営農経済センター 倉庫前 (開成町吉田島2000)	集合後、圃場へ移動します。
	13時30分より	福沢総合選果場 (南足柄市怒田1332)	集合後、圃場へ移動します。
7/10(水)	9時30分より	曾我みのり館 第2駐車場 (小田原市上曾我2984)	集合後、圃場へ移動します。
	13時30分より	栢山地区 (小田原消防署栢山出張所付近)	直接会場までお越しください。駐車スペースが少ないので、乗り合わせや徒歩等でお越しください。 ※集合場所は地図参照
7/11(木)	13時30分より	中井営農経済センター 倉庫前 (中井町比奈窪68)	集合後、圃場へ移動します。

2. 対象者 JA かながわ西湘管内組合員(水稻栽培者)

3. 内容 (予定 全日程共通) ①追肥について ②斑点米カメムシ対策について
③その他(肥料・農薬紹介 など)

※水田にて稲の観察をしますので、雨・暑さ対策を各自お願いします。

※発熱や風邪の症状がある方は参加をお控えください。

4. 講師 農業技術センター

5. 申込 **7/3(水)までに営農部営農指導課または最寄りの支店・センターまでお申込みください。**

※全日程同じ内容ですので、希望する日程にご参加ください。

7/8(月)13時30分 福沢地区会場(福沢総合選果場に集合後、移動します。場所が分かる方は直接現地でも構いません。)



(お問合せ) JA かながわ西湘営農部営農指導課 TEL: 0465-46-6950